滿洲日報

○報價　每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例　一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減　每張四百文

特別廣告

資本金貳千四百萬圓
積立金一千零拾四萬圓

本支店出張所
橫濱　神戸　東京　長崎　大阪
倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺

電話　十番　支配人室
　　　百八番　事務室

橫濱正金銀行牛莊支店

清酒東自慢、白鹿
朝日ビール
孔雀印平野水、箱根水
上等石炭
以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也

松茂洋行商業部
河岸通（電話五十二番）

滿洲日報各地賣捌所
滿洲日報廣告取次所

大連市磯岐町三百二十八號
日華運輸公司

大連市磐城町四十九番地
岡野新聞舖

奉天大南門內景祐宮胡同
全泰號

遼陽　遼陽俱樂部
谷口令朝太郎

三井洋行 倉庫部

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷者

● 精製白砂糖新入荷物あり

今回倉庫所在地（青堆子精揚場上降り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は仝所へ御照會被下度願上候（電話百二十八番）

合名會社

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒洋[illegible]印井一切雜貨其名譽已傳播於滿洲全地矣今又[illegible]在西營子老爺閣街同[illegible]內分設支店一所發賣綿絲棉布火柴絲布綢衣料棉布手巾花巾東洋襪子洋燭罐詰食料品[illegible]物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一等人來厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請厚臨爲幸

總管理人　田中賴之助謹白

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋[illegible]代客經理買賣[illegible]貨物以求自[illegible]方[illegible]貨物[illegible]及存[illegible]貨物水脚一[illegible]格外從廉[illegible]貴客賜顧請到小號面議是荷

總管理人　業兆卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油餅生意多年以本營業并事及經理買賣糧貨布疋等物并代客[illegible]汽船[illegible]事宜三井行與本店[illegible]並與各南北客經理有年誠信相孚遠近知之正理事[illegible]玉田　副理事[illegible]謹啓　設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料棧要堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞

本主人敬啓

仁裕號

係裝運各幇火輪船生意兼賣各樣洋什貨糧石等此佈

營口西大廟街路北營乙第十三號

恒有長

本號開設在西大廟街路南第十一號[illegible]雜貨一應俱全價值格外從廉克己并另設[illegible]以應急需久爲中外士商所推許凡賜顧者請認明招牌爲荷

元茂盛

油坊買賣元荳荳油荳餅雜色糧石以及代客[illegible]雜貨布疋一概發行裝運沙[illegible]交易南北客商歷有年矣爲此謹白

開設營口西街老爺閣前路北營乙第四十九號

代代米烟公司

本行專售日本官造紙烟[illegible]牌（[illegible]）櫻花牌（[illegible]）百合花牌（利刊）均已馳名內外[illegible]上等烟料加工精製[illegible]仙鶴牌（[illegible]）清香撲鼻[illegible]口[illegible]價值[illegible]廉[illegible]可向[illegible]行或請至本行及司代理店面營口大[illegible]元[illegible]買廉不致誤謹此廣告

關東總督府管內（租借地ヲ除ク）土地家屋貸下內規

第一條　本內規ニ於テ土地家屋ト稱スルハ關東總督府管內ニ在ル官有ノ土地家屋營造物其他一切ノ不動產ヲ云フ

第二條　土地家屋ハ官ニ必要ナラザルモノニ限リ一定ノ貸下料ヲ徵シテ一般人民ニ貸下クルコトヲ得但貸下料ハ每月之レヲ前納セシムルモノトス

第三條　土地家屋貸下期限ハ一ケ年以內トシ繼續貸下ヲ希望スル者アルトキハ更ニ出願許可ヲ受ケシムルモノトス但事業ノ性質ニ依リ特ニ認可ヲ得タルモノハ此限リニアラズ

第四條　土地家屋ノ貸下取扱ハ軍政官又ハ軍務官（軍政官又ハ軍務官ヲ置カザル地ニ在リテハ其地ノ軍政ヲ所理スル官衙以下之ニ倣フ）之レニ任ス可シ

第五條　軍政官又ハ軍務官ハ貸下ダベキ土地家屋ノ等級區分及ヒ貸下料ヲ定メ豫メ總督ノ認可ヲ受ク可シ但シ略圖ヲ添附ス可シ

第六條　同一ノ土地家屋ニ對シ同時ニ二人以上ノ借受出願者アルトキハ其貸下ハ競爭入札ニ依ル競爭入札ノ方法ハ軍政官又ハ軍務官之レヲ定ム可シ

前項ノ土地家屋ニ就キ第三條ニ依リ繼續貸下ヲ願出ツルモノアリテ入札者中ニ於ケル最高額ノ貸下料ヲ納付スルトキハ其出願者ニ先借權ヲ有セシムルモノトス

第七條　借入人借受目的以外ノ用途ニ土地家屋ヲ使用セントスルトキハ更ニ出願許可ヲ受ク可キモノトス

第八條　借受人借受ノ土地家屋ヲ他人ニ轉貸シ又ハ當該土地家屋ノ上ニ有スル權利ヲ債務ノ擔保ニ供シタルトキハ直チニ貸下ノ許可ヲ取消スモノトス

第九條　土地家屋ノ借受人第七條ノ規定ニ違反シ若クハ天災其他避ク可カラザル事由ニ依ルニ非スシテ借受ノ日ヨリ二ケ月以內ニ借受ノ目的タル施設ニ着手セス又ハ着手スルモ其目的ヲ遂行スル意志ナシト認メタルトキハ其貸下ヲ取消スモノトス

第十條　借受人借受タル土地家屋ニ修繕ヲ加ヘ又ハ其他ノ工事ヲ爲サントスルトキハ願書ニ工事豫算書ヲ添附シ其地ノ軍政官又ハ軍務官ニ出願セシムルモノトス

前項ノ場合ニ於テ軍政官又ハ軍務官ハ工事豫算書ノ正確ナルヤ否ヤヲ調査シ許否ヲ決スルモノトス

第十一條　借受人前條ノ規定ニ依ラスシテ修繕其他ノ工事ヲ爲シ若クハ故意又ハ怠慢ニ依リ土地家屋ヲ荒廢毀損亡失セシメタルトキハ相當ノ賠償ヲ命スルモノトス

第十二條　借受人自己ノ便宜ニ依リ借受中ノ土地家屋ヲ返還シ又ハ返還ヲ命ゼラレタル場合ニ於テ其ノ土地家屋ニ加ヘタル工事又ハ定着物アルトキハ軍政官又ハ軍務官ハ相當ノ期限內ニ復舊工事ヲ爲サシメ又ハ其物件ヲ除去セシム可シ

前項ノ期限內ニ復舊工事ヲ終ラサルカ又ハ定着物ヲ除去セサルトキハ借受人ノ負擔ヲ以テ官自ラ復舊工事ヲ爲シ尚ホ損害アルトキハ之ヲ賠償セシメ定着物ハ之レヲ沒收ス

第十三條　前條ノ場合ニ於テ軍政官又ハ軍務官ニ於テ必要ト認ムルトキハ第十條ノ工事豫算書及其他ノ狀況ヲ參酌シ相當ノ價格ヲ以テ工事及物件ヲ買收スルコトヲ得但シ此場合ニ於テハ關東總督府經理部長ノ承認ヲ受クルヲ要ス

第十四條　貸下タル土地家屋ニシテ官ニ必要ヲ生ジタルトキハ何時ニテモ其一部若クハ全部ヲ徵用シ又ハ返還ヲ命ス但シ止ムヲ得サル場合ノ外家屋ハ一週日土地ハ一月前ニ豫告ヲ爲スモノトス

第十五條　軍政官又ハ軍務官ハ停車場域內及其附近又ハ鐵道沿線上其ノ他將來ニ於テ軍事上行政上重要ト認ムル土地家屋ヲ貸下クルトキハ移築改築復舊工事等ニ多大ノ日時ト手數トヲ要スル永久的築造物ノ建設又ハ著大ナル變造ヲ施スコトヲ許可スベカラズ

第十六條　前條ノ規定ハ租借地內ニ在リテモ亦之レヲ適用ス

大日本政府特定 官製口付紙捲煙草 滿洲一手輸入發賣

江副洋行
營口永世街

和泉洋行

本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、襪子、錢袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一概俱全價值格外從廉克己、凡中外仕商賜顧者、請速臨爲幸、
大阪府堺市熊野町　藤原謹啓

田中牛莊分莊

啓者本舖開設於東營口綏定門外經大阪九三組精造東緊身洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉 賜顧者請光臨本舖面閱是幸
田中牛莊分莊謹啓

材木販賣
荒物

秋田洋行

營口永世街第一八四號平野町
本店　下關　秋田寅之輔商店

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久己馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克己凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨真價實以應各主顧局衆之需謹本主人啓

雜貨卸商

在營口元神廟街
關東公司雜貨部

米國製
白麵發賣

大連市羽前町千八番
英組大連支店

工

營口元神廟前
飯塚工程局材料部
（電話百三十五番）

弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碑石、煉瓦等
一日本石炭數種

Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office. Newchwang.
Telephone No. 29.

發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社（電話二十九番）

東京電報

●政府の法案提出　政府より宅地價修正案、徴兵令改正案、鹽專賣法改正案を提出せり

●獨乙公使の凱旋將校招待　獨乙公使は此程凱旋せる各軍司令官及び幕僚三十名を招待せり

●統監の出發延期　伊藤統監の大磯發は二十一日頃に延期せり

●伊藤侯の着任式　伊藤統監任地に到着の際は陸軍禮式中の元帥同樣の儀仗兵を從はしめ禮砲式を行ひ其住宅には衛兵を配置すべしと

●招魂社大祭執行　五月三日より三日間靖國神社に於て戰死將卒の爲め臨時招魂大祭執行合祀者約二萬人

●慈善音樂會開催　東北凶作地救濟義捐の爲め來る二十四日大音樂會を催す　（以上二月十五日發電）

倫敦電報

●米國と淸國排外暴動　華盛頓に於て聞く所に據れば國務卿コンチヲス氏は陸軍卿タフト氏に注意を促がし萬一の虞に對し準備する所あらしむべしと云ふ、又軍隊の一部は既に菲律賓に向つて出發せり其後の報道に據れは米國政府の憂慮するに拘らず倫敦及北京の英國當局者は淸國に於て左程懼るべき排外暴動の起るべきを豫期せずと云ふ

●英國衆議院議長　ジエームス、ローサー氏は英國衆議院議長に任せられたり

●米大統領と東北饑饉　大米國統領ルーズベルト氏は一大友國たる日本に於ける饑饉地方救濟の爲め金品を寄附すべきことを其國民に勸誘せり

●モロッコ會議の禁制品討議　アルジエシラスに於けるモロッコ會議は戰時禁制品停止規則に關し更に討議する所ありたり　（以上二月十四日發電）

雜報

●威海衛還附說　威海衛問題に對する英淸談判は近々開始せらるゝに至るべきこと既報のごとくなるが聞く所によれば英國現自由黨内閣員殊に外交當局たるグレー氏は野にある時威海衛放棄を主張したる人なれば多分來るべき談判に於ては或る條件の下に同地を淸國に還附するに至るべしといふ

●鐵道統一案内容　過般來引續き調査中なる全國鐵道統一案は昨今大に進捗したるを以て本期議會に政府案として提出せらるべき筈なるが今其の大要を聞くに約四億圓の閣鐵道公債を發行し各鐵道會社の既往三箇年の純益金若くは配當率を平均したる額の二十倍を以て政府に買上ぐる計畫なるが同案にして今期議會に於て通過するとせば同時に私設鐵道法の改正を爲さゞる可からずと云ふ

●凱旋軍の總人員　凱旋歸還軍輸送開始以來一月末に至る檢疫總員は四十四萬五千百四十三人にして此消毒人員は二十八萬八千〇三十一人なるが此輸送船舶數は五百九十六艘なり而して本年に入りて一月中の檢疫總員は五千二百七十二人此消毒人員四千百七十二人此輸送船舶八艘なり其三檢疫所別詳細は左の如し

檢疫所	船舶數	檢疫總員	消毒人員
似島	二八〇艘	二二四、九〇九人	一九九、五九七人
大里	一七五艘	一〇九、四三四人	九五、五八九人
和田岬	一四一艘	一一一、一〇〇人	九二、八四五人

●滿洲經營委員會　政府は今回滿洲經營問題について委員會を組織し順次其決定事項を發表する由にて去る八日午後三時より首相官邸に於てその第一回集會を催したり當日の出席者は西園寺首相を始め兒玉大將、石本陸軍次官、珍田外務次官、仲小路遞信次官、荒井主計局長、山座政務局長等にして西園寺首相の訓示的演說あり種々協議を凝し四時散會せり第二回は去る十二日に開會せる筈にて若槻大藏次官も委員として出席せる由

●露國本年度の財政　倫敦タイムスの聖彼得堡通信員の所報に曰くスロウオ新聞に依れば露國本年度の豫算中には滿洲軍の維持輸送費並に露國捕虜の賠償費として臨時費四億留の準備せらるゝありてこれには國庫債券の發行を以てし通常歳入は二十億留と算定せられ通常歳出中には陸軍改良費千九百萬留、警吏增加費二千百萬留を含み居れり、又海軍費は全然新造軍艦費を省きたるため六千萬留を減少したり、更にモルヲ新聞によれば露國政府は饑饉救濟のために充つる何等の資金をも有せざるに至りたりと

●今後の陸軍兵器　陸軍兵器廠長押上少將の談なりとして傳へらるゝ所によれば日露兩國の兵器に就ては一長一短あるを免れざるが露式の小銃は日本の夫より口徑稍々大なるもその實體に於ては優劣を認めず孰れにせよ小銃は今後五六ヶ年は改良の事なかる可し砲に至つては露式は日本の夫れに比して遠距離に達することは僅の差にして且つ非常に重く而して其の砲たる日本の馬匹の堪ゆる所に非らず但し日本の砲にも特長なきに非らず之を要するに今回の戰爭に依り兵器に改良の發明點もあり又た研究すべき所のものあれば多少の改造を免れざるべきも其の餘地は最も多く砲にあるべしと

●講和騷動犯罪の特赦建議　昨年九月東京市を始め橫濱神戶等に起りたる騷動は其の原因講和條件に對する不平に在りて一般犯罪とは其の情狀を異にし慷慨悲憤の餘終に不知不識犯罪に陷りたる者少からざれば政府は宜しく國民の熱誠に免じ既決及び未決の囚人を特赦し寛大を示すべしと云ふ說一部議員の間に少からず今回政交俱樂部其の他の議員より建議案として衆議院に提出せらるゝことゝなれり大多數を以て通過するならん

●憲本黨の黨勢刷新　憲政本黨東京支部幹事門馬尙經、黑須龍太郎兩氏その他院外者委員は此程大隈總理を早稻田邸に訪問し豫て同黨政務委員に提出したるものと同一の黨勢刷新意見書を呈し其趣旨を陳述したるに大隈伯は熱心にこれを聞取りたる上戰後に於ける國民の指導誘掖に關し二時間餘に亘りて其意見を述べ自ら陣頭に立て大に盡瘁するところあるべしと語りたるを以て一同大に滿足して引取りたりと

●英皇甥の遊覽日割　來十九日橫濱に御着相成るべき英國皇族アーサー、コンノート親王殿下には同日御入京、霞ヶ關離宮に入らせられ一週間御滯在（但し二十六日は獨帝銀婚の式當日なれば同日御逗留の上獨逸公使館に於ける晩餐會に臨ませらるゝこととなるべし）二十七日東京御出發靜岡又は名古屋に御一泊、二十八日京都に御一泊二十九日御兩行下の關にて御休憩の上九州鐵道にて長崎に向はせられ同港より汽上を鹿兒嶋へ御着、同地にて御二泊の上御引返しとなり廣嶋に御立寄の上京都に五六日間御滯在、京都及び奈良附近の名勝・古跡、美術品等御巡覽の上東京を經て横濱より三月十六日御出帆加奈太へ向け御直航あらせらるべしと聞く

●賞勳授與の割合　日淸戰役の賞勳百は人に付三人餘の割合なりしに今回は百人に付十人となし金鵄勳章も日淸戰役には百人に付一人餘の割合なりしに今回は百人に付て六人餘の割合にて授與することに決したりと云へり

●軍用手票使用高　開戰以來昨年九月に至る政府が軍事費支拂の爲めに滿韓に使用したる軍用手票各月の使用高左の如しといふ

卅七年	圓	卅八年	圓
二月	六六七、〇〇〇	一月	五、九六六、九〇〇
三月	一、七九二、六〇〇	二月	五、二五一、五〇〇
四月	一、九四六、五九六	三月	一八、四五八、〇〇三
五月	二、六〇六、二〇〇	四月	二六、三〇四、八八六
六月	二、二五四、九五〇	五月	七、一六八、九三三
七月	九、七〇六、八六〇	六月	二三、〇五四、七九九
八月	二三、七九三、三四〇	七月	二三、一〇九、一二四
九月	八、九九九、四五三	八月	四、一八六、三九五
十月	二一、二二八、四一一	九月	六、八六一、三一七
十一月	五、三九五、〇〇〇	合計	一七六、二四四、一八三
十二月	八一〇、〇〇〇		

●現任麝香間祇候　麝香間祇候は宮中に於ける名譽職にして從來名門の士に非ざれば任命されざる慣例なるが今回九條道孝公去薨されしを以て其の後任として久我通久侯任命せらるゝ由因に同祇候の現任者左の如し

嵯峨實愛、淺野長勳、德川慶喜、德川家達、島津忠濟、德川昭武、津輕承昭、松浦詮、由利公正

●西本願寺の迷信打破　西本願寺法主大谷光瑞師は先頃布教師一同に本年度布教の方針を傳へしが、其論達は先づ丙午迷信の理由なき事、五行、十干十二支の今日の文化と並行せざる事を示し最後にかゝる迷信を信ずる者は眞宗信徒たる事を許さずと結論したりと

●淸國貴婦人の足部治療　米國駐在淸國公使夫人は淸國婦人纏足の弊を矯め既に之に依て生じたる不具なる足部を治療して生理的に復せしめんとの志を以て近頃米國の醫師を聘し先づ自身の足部を治療せしめたるが此事は淸國婦人社會に頗る有益なる大影響を與へつゝありと云ふ

●林遠里翁の特例賜金　福岡縣の老農林遠里翁は曩に賞勳局より藍綬褒章を下賜されしが爾來益々農事改良に奮勵各地を遊歷し又は自己の薰陶せる實業家を海外に派遣する等盡力少なからず年齡古稀を過ぐるも尙孜々として倦むなく斯業に貢献する所少なからざる趣を以て今回賞勳局より金五十圓を下賜せられたり

●大連と營口との比較（承前）

如上の觀察に依り余輩は鐵道政略より打算せる大連繁榮の樂觀說は否認に躊躇せざる者也從て以て鐵道政界に觀察し、遼河の前途に失望し、營口の將來を悲觀する論者に對しては甚た其の智慮の淺薄を悲まざるを得ず余輩の觀察非乎、悲觀者の所見是乎、請ふ之を競爭の實際に徵せん

東淸鐵道を利用して遼河のジャンクを悲境に沈淪せしめ以て營口の繁榮を大連に合併せんとするの一事拾有餘年の將來は暫く措き數年の將來は到底不可能なるか單に東淸鐵道を以て之を論せは其經營は復た必ずしも困難に非るを知る序を以て左に少しく述る所あるへし

抑も現在に於ける東淸鐵道の幅員は世間の熟知せる如く其幅員、三呎六吋半也而して列車の往復は每日十六回をす故に現狀を以て計算するも東淸鐵道の日々の積載力は約三千噸に達すと云ふて可也、專門家の所說に依れは現狀に多少の改良を施せは每日二十列車を往復し日々約五千噸の貨物を輸送するは敢て困難に非すと云ふ今請ふ其計算に付き詳說して以て參考に供すへし

現に改正を施せは一日二十列車を往復するを得へければ一回の連結貨車に於ては現狀と現在一列車の貨車は總數三十也）寸毫の相違無之とするも而して一貨車の噸數を凡て六噸と計算するも其の積載總噸數は三千六百噸となる然るに現狀に多少の改正を施せは往復の列車數を增加すると共に一列車の連結すへき貨車數も亦た增加するを得と其增加の割合は即ち左の如し

二十列車内十列車　一列車の貨車數三十車
　　　　内十列車　一列車の貨車數五十貨車

但し十列車には各々五十貨車を連結し得る者は列車の前後に汽關車を附するか爲なりと云ふ

即ち一貨車を凡て六噸積と假定するも二十列車の總數に於て尙は四千八百噸を輸送するに足る所以也

更に專門家の說に依れは東淸鐵道も現在の幅員にては朝鮮鐵道にも將た又た露國鉄道にも連絡を觀る能はされは早晩其幅員を擴張して四呎八吋半と爲し以て朝鮮鐵道と同樣の者と爲さゝる可らす若し幸に幅を擴張しで廣軌鐵道に改正するに至らは其輸送力は非常に增加し即ち以上改良後の輸送力に比較し更に復た七割の增加を觀る可し云々

專門家の說く所斯の如し想ふに軌道の擴張は早晩事實となるに至るへし果して事實とならんか東淸鐵道の日々輸送力は無慮實に八千百餘噸に達する也　（未完）

●遼陽銀行界の恐慌　遼陽に於ては近時銀行界に恐慌を起し或銀行の如きは自家の發行する手形の全く信用を缺けるに至れるを以て將に倒產の悲境に沈淪せんとする者之れある由にて甚しきは三十餘戶の多きに及ぶとさへ傳へらるゝに至れり其原因の那邊に存するやは得て知るへからずと雖も在遼陽の銀行業者が目下非常の不信用の境遇に在るは事實なるが如し暫く記して確報を竢つと云ふ

●愛國婦人會慈善市の開催　本紙廣告欄にもある如く愈々來る廿日（火曜日）を以てアツセンブリーホームに於て開催する事に一決せり今販賣店及び慈善演藝會受持會員の氏名を掲ぐれば

▲接待掛　中村くら子　杉野仲子　長崎梅子　増田歌子　權木よし子　工棟その江子
▲慈善賣店掛　神野道子　佐藤くま子　小島かつ子　高淵比佐與子　宮崎ます子　臼井秀子　谷口禮子　御門夫人　三野與彌子
▲喫茶店掛　井上よし子　大賀福子　野間夫人　鐵村濱子　百武つね子　齊藤すゞ子　禰金子　つま子　前田なを子　神崎くま子

にして之が補助員として

▲庶務掛兼會計係　杉野鋒太郎　水口虎松
▲演藝掛　中村錠太郎　伊藤俊介　正田能太郎　野間五造
▲接待掛　黑澤鐵吉　太田喜平　岡部二郎　藝野底次
▲慈善賣店掛　井上泰造　加藤定吉　武石房吉　倉田敬三
▲會場掛　神野良　飯塚松太郎　前田銀二郎　森廣藏
▲喫茶店掛　平岡佳吉　遠藤藤次郎　松倉善家　高坂景顯

の諸氏にして當餘興演藝會には唱歌、ピアノ、薩摩琵琶、劍舞、詩吟、柴笛、尺八曲奏、柔術形、歌舞、三曲合奏　幻燈、大聲蓄音器、淨瑠璃、西洋人ピアノ、活人畫、等の餘興を催す筈の由因に慈善券は領事館内及び日本人會に於て發賣すと云ふ定めし當日は賑ふ事ならん

●大阪商船の初航　某商店への書信に依れば大阪商船會社は來る三月十三日阪地出航朝鮮各港經由芝罘太沽を經て當港初航を開始すと云ふ

●憲兵派遣所長の交代　西分遣所長憲兵曹長さ屋熊吉氏は警務課詰を命ぜられ其後任に中川伍長命ぜられ又牛家屯派遣所も同時に交代宮崎軍曹其所長を命ぜられたりと云ふ

●氏名詐稱者の拘留　法網を潜りて氏名を詐稱するとは馬鹿者も爰に至つては實に沙汰の限なり、原籍大阪市北區櫻田町現時營口永世街九八大和東廳方止宿人石谷喜代治（卅一）は昨卅八年六月當地に來り戶籍謄本を携帶せざるより同年七月一日より向ふ卅日間假居留の認可を受けたるまゝ今日に至るも尙其儘に打捨て先日其筋の憲兵戶口調査の爲め大和東廳方へ趣き同人に原籍氏名を尋問したる所已れは昨年より假居留のみにて本居留をなさゝる事とて圖々しくも主人東廳の如く裝ひ官憲を胡魔化さんと巧みたるも言語其他擧動の曖昧なる所より看破せられ一もニもなく拘引せられ嚴重なる訊問を受け終に包みきれず白狀に及び十日の拘留處分とは氣味の好い話なり

●富籤類似者抑引せらる　原籍大分縣大分郡大字高松岡金作（廿九）及び原籍鹿兒島縣東市村重永仁右エ門（廿七）の兩名は常に居所を定めず營口市中を徘徊し古傘及置時計を路傍に陳列し多くの淸人を集め富籤類似の行爲をなして金錢を得つゝありしが一昨日も同樣の手段を以て重慶街淸人店舖の軒端に於て盛に淸語を以て講釋中を其筋に現認せられ其儘拘引せられたりと尙他にもかゝる無頼漢等か右樣の手段を講して橫行しつゝある由なれは近々の內夫れ〳〵狩立てらるへしといふ

●でたらめ草　近着の外字雜誌に據ると歐米各國の婦人が理想とする所の花婿は左の通である

一、風采堂々として氣品高尙なる男子（英國婦人）
一、美貌にして愛嬌ある男子（佛國婦人）
一、正直にして律義なる男子（獨乙婦人）
一、容貌學問よりも富める男子（米國婦人）
一、詩的思想を有する男子（伊國婦人）
一、蠻カラ的男子（露國婦人）
一、成るべく外國へ出でざる男子（丁抹婦人）

其理想が各々其國民の性格を最も能く發揮して居るのが面白い唯我邦の婦人が理想とする所を聞くことを得ないのが遺憾である（△△坊）

春七句　半骨

天下る宿の乙鳥の行衛かな
春雨や褄とりて人の欄による
高殿は管かきの音や旅の雨
飛胡蝶池の心字を女夫哉
思いてゝ日課設くる日永哉
瀞千里男波女波の日永かな
市にして蛙聞く夜の小庭哉

丙午新年　六十九翁　赤松半古

百歲猶餘卅二年　眼看世態忽推遷
和戎醜虜應心服　戰捷王師茲凱旋
日月淸明値佳節　山川靈秀簇祥煙
[illegible]賦報皇恩大　擬草平戎頌一篇

汽車開行

▲上行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
新民屯至溝邦子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇
山海關至唐山	上二、一八	下六、二〇
山海關至天津	上五、〇〇	下五、五五
[illegible]山至天津	上[illegible]	[illegible]

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上八、〇〇	下六、二〇
北京至天津	上一一、二〇	下五、四一
北京至塘沽	下二、四〇	下八、三〇
天津至唐山	上一一、四二	下五、一七

野戰鐵道普通輸送列車發着時刻表

大連奉天間下り列車

驛名	着時刻	發時刻
大連		發午前九、〇〇
金州	着一〇、〇九	發一〇、二九
大石橋	着翌前一二、三七	發一二、五〇

驛名	着時刻	發時刻
遼陽		發午後三、五〇
大石橋	着一〇、三二	發一一、三五
金州	着翌前二、二〇	發三、一〇
大連	着五、三二	

大連旅順間下り列車

驛名	時刻
旅順	發午後
大連	着

營口線上り列車

驛名	時刻
大石橋	發午前一、〇〇
營口	着

營口線下り列車

天氣

營口地方　自昨日午後六時至本日午後六時

[illegible]

雜報

●黒龍江の官制改革

從來黒龍江省の官制改革は奉天吉林兩省とは全然其性質を異にし奉天省の民政組織吉林省の半軍政半民政なるに反し全然軍政組織にして將軍、副都統以下の駐防八旗官を設け全省を管轄し來りしも土地漸く拓け人口亦繁殖し事務の煩劇を加へたると露國との交渉問題年々頻繁と爲りたるより光緒三十年十一月前署理黒龍江將軍達桂は副都統程德全と同省官制改革の件を聯銜奏請し左記の新官廳を增設することゝなりたり

▲分巡道（按察使銜を兼ね）綏蘭海兵備道
▲綏化府知府
▲呼蘭府知府
▲黒水廳撫民同知
▲海倫直隷廳
▲大賚廳撫民通判
▲巴彦州知州
▲餘慶縣知縣
▲蘭西縣知縣
▲木蘭縣知縣
▲靑岡縣知縣

即ち巡道一、兵備道一、知府二、同知一、直隷廳一、通判一、知州一、知縣四を新設せるにて之を從來の官制に比すれば大に民政を加味することゝなりたり分巡道は黒龍江省垣に在りて全省の刑名と驛傳とを統轄し併せて一切の政務に參與の權あり兵備道は綏化、呼蘭及び海倫の二府一廳を統轄し邊防、營務、租賦等の事を兼理す可し其の他知府、知州、知縣、同知、通判等の職權は他省と異なる無し養廉銀、俸銀其の他の規定は概ね吉林。奉天、新疆三省の制度を參酌定せるものなり要は一事の注意を値す可きは新設各衙門共舊慣故例に拘らす胥吏を去り門簽を除き其組織を簡易にして能ふ丈け從來の夙弊を一掃せんことを努めたるに在り清國政府が滿洲の官制改革に着手せんとするに當り黒龍江將軍が先づ其の手を官制改革に下し變法自强の素地を作りたるは多とす可し

●東北三縣慘狀一班

天保の大饑饉に讓らさる宮城福嶋磐手三縣の慘狀を概記せんに宮城縣の作付反別は七万八千九百町歩にして收穫皆無の作付反別七万六百七十七町歩なり平年收穫は百十五万千四百石なるが昨年の收獲は僅々十六万石即ち一分四厘作の割なり窮民は全縣戸數十三万四千四百三十一戸人口は八十九万九千七百八十二人なるが此内窮民として救恤を要すへきものは戸數四万六千七百六十六戸人口二十八万四千八百六十五人なりとす

福島縣は作付反別九万三千八百町歩の内收獲皆無の反別六万二千七百町歩なり平年の收獲百三十二万五千石なるに昨年は三十三万石に過ぎず即ち二分五厘作なり窮民は全縣戸數十六万五千百二十九戸人口百十七万五百九十八人の内戸數六万九千八十四戸人口四十八万三千五百八十八人なりとす

磐手縣は作付反別四万九千四百町歩なるが內收獲皆無反別三万千六百町歩なり收獲は平年五十七万千四百石なるに昨年は十九万二千石即ち三分三厘作の割合なり全縣戸數十一万三千四百二十戸人口七十四万九千九百二十七人の內窮民として救恤を要すべきもの戸數三万四千三十八戸人口十九万四百二十二人なりとす

以上は昨年末の調査なるが爾後隆冬積雪の爲め窮民の增加多大なるは明白なる次第にして志士仁人の救恤を絶叫することと宜なりと云ふべし

●滿洲博覽會規則

來五月一日より奉天府に於て開催さるゝ滿洲博覽會規則は左の如し

▲第一章　總則

第一條　本博覽會は淸國に於ける本邦生產品の販路擴張を圖るを以て目的とす
第二條　本會は明治卅九年五月一日より同年七月卅一日に至る三ヶ月間淸國盛京省奉天府に開設す
第三條　本會の出品を分ちて工產、水產、機械、敎育、農產、參考の六部とす
第四條　左の物品は之を出陳することを得す
一內外博覽會共新會等に於て審査を受けたるもの、一危險の虞あるもの、一風俗衞生に害あるもの
第五條　出品陳列區の割當は申込數と出品の種類とを參酌し本會に於て之を定む
第六條　出品者は出品物に關する製造作業をなすことを得、但豫め許諾を經るを要す
第七條　本會は出品物に對し相當の保護をなすと雖も不得止災害に依り物品の毀損又は紛失等は一切其責に任せす

▲第二章　出品

第八條　本會に出品せんとする者は明治卅九年三月五日迄に第一號書式に據り出品申込書を本會に差出すへし
第九條　申込人出品の承諾を受けたるときは直に第二號第三號書式に據り出品目錄及出品說明書を差出すへし
第十條　出品陳列區は間口堅曲尺六尺奥行三尺を以て一區とし方三尺を以て半區とす
第十一條　出品物の搬入は明治卅九年四月一日より同二十日迄とす
第十二條　出品物には本會に於て設備せる附札を添付すへし
第十三條　出品物は閉會前猥に搬出することを得す
第十四條　出品物にして腐敗融解等のため陳列に適せすと認むるものは之を撤去すへし
第十五條　出品物は參考品を除くの外之を即賣するものとす、但し委員の指定したる物品は其許諾を得るにあらされは即賣することを得す

▲第三章　費用

第十六條　出品者は出品申込の際申込金一人に付金十圓を本會に納付すへし
第十七條　出品の許諾を受けたるときは左の割合に依り陳列區使用料を本會に納付すへし一區に付金三十圓、半區に付十五圓、但半區以下は半區と見做し其料金を納付すへし
第十八條　普通陳列區以外の場所に出品するものに對しては特に本會に於て定むる所の料金を納付すへし
第十九條　普通陳列箱並普通裝飾は本會に於て之を設備す
第二十條　左の費用は出品者の負擔とす、出品の荷造及運搬費、特別陳列裝飾費、保險料
第廿一條　出品者は出品物を即賣したるときは手數料として賣價の一割を本會に納付すへし

▲第四章　機械の出品

第廿二條　出品したる機械を運轉せんとするものは陳列面積、原動力等を記したる書面を差出し其の許諾を受くへし
第廿三條　運轉に供する機械の出品は總て館外に陳列す
第廿四條　機械の運轉には原動力として電氣力石油發動機の外他の動力を使用することを得す
第廿五條　原動力及ひ之か運轉に要する費用は總て出品物の負擔とす

▲第五章　觀覽

第廿六條　觀覽時間は毎日午前八時より午后五時迄とす但し都合に依り之を伸縮することあるへし
第廿七條　毎月曜日午后を以て婦人觀覽日とす但し平日入場するも妨なし
第廿八條　觀覽人心得は別に之を定む

▲第六章　審查及び褒賞

第廿九條　出品者は參考品を除く外總て審查を行ふものとす
第三十條　審查は開會當日に始まり七月五日に終る
第卅一條　出品物の審查を辭せんとする者は豫め書面を以て屆出つへし
第卅二條　褒賞は左の等級に依り之を授與す名譽賞牌（金牌）一等賞牌（金牌）二等賞牌（銀牌）三等同（銅牌）褒狀
第卅三條　同一出品者にて二個以上の褒賞を受くへきときは之に對し證狀は授與するも賞牌は其の最優等のもの一個を授與す
第卅四條　褒賞授與式は三十九年七月十五日とす

▲第七章　雜則

第卅五條　館外に特に陳列場を設けんとするものは本會の許諾を受くへし
第卅六條　前條の場合に於ては使用者は曲尺方六尺に付き金三十圓の使用料を納付すへし
第卅七條　第卅五條に據る館外特置の陳列場の設備費は一切使用者の負擔とす
第卅八條　申込金は出品者の都合に依り出品を取消すも之を返戻せす

廣告

東北凶作地窮民義捐者芳名

一金四拾圓五十錢　換算　軍票四拾五圓
內譯　滿洲軍倉庫營口支庫附消防第一班
一金貳圓　石井善五郎
一仝一圓四十錢　北井與三松
一仝一圓　小山鷲之進
一仝五十錢　藤井源八郎
一仝五十錢　田原庄六
一仝五十錢　今成友吉
一仝五十錢　增田鐵之助
一仝五十錢　菅野三代之助
一仝五十錢　忍田榮吉
一仝五十錢　中江寅吉
一仝五十錢　久納德次郎
一仝五十錢　吉田圖太郎
一仝五十錢　金子熊一
一仝二十錢　山崎來治
一仝二十錢　大西佐市
一仝二十錢　水品萬作
同消防第二班
一金貳圓五十錢　廣瀨正之助
一仝一圓五十錢　松本文次郎
一仝五十錢　三浦弘吉
一仝五十錢　齊藤與吉
一仝五十錢　石井岩吉
一仝五十錢　長谷川末吉
一仝五十錢　出沼己之吉
一仝五十錢　井尻寅吉
一仝五十錢　廣瀨仲藏
一仝五十錢　松本濱藏
一仝五十錢　內山藤藏
一仝五十錢　靑木銀之助
一仝五十錢　宮城源次郎
一仝五十錢　杉本太郎善
一仝二十錢　田島紋彌
同消防第三班
一金貳圓五十錢　宮下金太郎
一仝貳圓五十錢　新堀熊次郎
一仝貳圓　今野義遼
一仝一圓五十錢　長島熊吉
一仝一圓五十錢　三上三代麿
一仝一圓　棚井黒次郎
一仝一圓　原寅之助
一仝一圓　淸水文吉
一仝一圓　梅澤直治
一仝九十錢　寺島榮太郎
一仝六十錢　宮田金藏
一仝五十錢　關井榮吉
一仝五十錢　飯島久作
一仝五十錢　谷井喜作
一仝五十錢　上條庄司
一仝五十錢　谷健三郎
一仝五十錢　白石伊三郎
一仝五十錢　常泉留次郎
一仝五十錢　近藤桂太郎
一仝五十錢　澤川定吉
一仝五十錢　竹內喜入
一銀貳圓　營口永世街
岡田芳松　村上常之進　植木源藏　石川德三郎　村上新　祐野鶴一　石川卯之助　平井芳造　中野忠次　淵上ゆみ　全まつの
一仝拾五圓　同村上商會
一仝五圓　仝元神廟
一仝三圓　同
一仝一圓　同
計七十一圓
通計一千二百廿圓六十五錢

廣告

來る廿日アツセンブリホールに於て愛國婦人會牛莊委員部慈善賣店幷に慈善演藝會を開く

一　慈善賣店には特に日本より取寄せたる優等嶄新の美術品及婦人向粧飾品並に陶器漆器類あり
一　演藝會には當委員部會員及び豫て本會事業を補助せらるゝ有志家の演藝數番あり
一　慈善賣店は午後二時より演藝會は午后六時より何れも開始す
一　通券は銀壹圓にして領事館內愛國婦人會牛莊委員部及牛莊日本人會に於て發賣す
一　入場人員に制限あるを以て通券は賣り切れさるに先ち便宜購入せられたし
右廣告す
愛國婦人會牛莊委員部

告示
一本年一月分土地貸下料未納者にして本月盡日迄に貸納付せさるものは其土地の貸下を停示す
明治三十九年二月十二日
營口兵站司令官　與倉喜平

森病院
一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄
△姙婦の入院を諾す（取扱主任產婆大遊しけ子）
院主　森　孋
醫長　鈴木昌平
營口永世街（電話一五五番）

解雇廣告
舊書記　馬島音三郎
右解雇す爾來本會に關係なし此段廣告す
遼陽日本人會

營口中央市場前
萬事勉强乘車乘船好位置
旅館　東京樓
店主　熊田兼次郎（電話百七十八番）

西洋料理仕出し御需應にず
即席和洋料理　東京樓支店（電話四十四番）

奉天日本旅館
瀋陽館
家屋宏壯淸潔　接待優遇懇切
開放全時一開業　奉天小西門外大街路北

藝妓仲居新來御披露
此度新たに內地より藝妓仲居十數名を連れ來り候間御光來の上御評判の程願上候　草々
營口　高砂ホテル
高砂（電話一四五）

北京
扶桑旅館
東單牌樓大街路西
客室淸潔料理鮮新

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.
Plans and specifications made to order.
ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

諸鐵工製作
鑛山機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
（營口新シタ街定門商會東）
川喜鐵工塲

消火器
右今般新着仕候間至急御申込相成可候上願
英洋行
營口西北街

西海洋服店
歐米各國最新流行形
永世街一四一（森病院三軒目）（電話百二十七號）

Yano & Co.

矢野洋行

Telephone No. 137 電話一三七

諸雜貨、家道具類、呉服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段も極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

石材、碎石
並に自家製造 廉價販賣
瓦、煉瓦

營口元神廟街四十號第二號

順吉洋行

滿洲大販賣所

營口出張店は結氷中引揚ゲ候ニ付御用向ノ御方ハ遼陽出張店ヘ御來店アリタシ

遼陽停車場前 池上出張店

奉天 池上出張店

風藥

登録商標

止咳祛痰散

哮喘氣急、多痰咯血、咳嗽痰稠、各種喉症、胃痛胸痛、甚至塵臥不安、飲食不進、或諸醫束手百藥罔效服用此散不論初起遠年立刻見效與水火旣濟之良方也

◎たんせき一切
◎肺病の特薬
◎ひきかせ

醫藥醫料器械
賣藥寫眞藥

營口永世街(寶順泰東首)

大阪賣東瀛大藥房

澤龜は醇良にして風味高尚

並ニ
札幌ビール
朝日ビール

政府專賣口付紙卷煙草 朝日 大和

酢 醬油 瓶詰樽詰

菓子 鑵詰 色々

洋酒類 取次販賣

釀造發賣元

大阪府堺市九間町 本店
北海道小樽湊町 小樽支店
臺灣臺北街書院 臺北支店
臺灣基隆街石牌 基隆支店
臺灣臺南街下南河 臺南支店
北海道函館區辨天町 函館出張店
清國遼陽城內西街 遼陽出張店
清國大連監部 大連出張店
清國牛莊港東營口 營口支店

宅合名會社

標子 木板 料木 發賣

營口青堆子

清水寧木局

SPECIAL LIGHT

(PILESNER BEER)

スペシャルライト賣出し

スペシャルライト、はピルスナビールにして此種のビールは日本に於ては弊社始めて之を釀造せり

スペシャルライト、は高價を拂ひて元料を特選せり

スペシャルライト、は其味輕くして高尚なり

釀造元 **大阪朝日麥酒株式會社**

營口發賣 **關東公司雜貨部**

婦科專治靈藥

奏功如神仙

名聲掩四海

大日本東京津村 天堂 大藥房處修

此藥專治婦科諸症如經血子宮虛冷、白帶赤帶胎前產後諸症、惡阻、吞酸、吐水諸症、難產、流產、或漏洩不安諸症、經水不調、經期不順、或在經前經後病痛諸症、經逆、經衰發熱、火氣、手足腹痛、頭暈目眩諸症復治男女感冒風寒及疝癪等症、誠救苦之妙藥濟世之至寶也

子宮病、血の道等婦人病一切の妙薬なり

總批發處大清國營口永世街(二本町)

藥司洋行

藥劑士 **淺野大藥房**

其他各國有名靈藥發售處醫藥及醫療器械

會席料理

三日月

營口警務部前南に入る

東營口郵便局東隣

島田洋服店

新民屯停車場前

同支店

一 關内外蘆漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候、但弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ事務取扱

一 海關手續

一 鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱

一 船舶荷物取扱

一 其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候

營口西北街第二七二號

大清通運公司營口支店

景品御料理御披露

私儀夫月中原料並に道具仕込みの爲め歸朝致し居ましたが此程種々の珍品を仕込みて立歸りましたを幸ひ平常の御引立に酬ひ度と思ひますので此際更に大勉強をしまして從來の御料理を吟味します外新に左記の價額にて釜飯湯豆腐の二品を加へ籤引景品を差上ます

新御料理

加藥飯 御壹人前 銀五拾錢
親子飯 仝上
湯豆腐 一鍋壹 銀貳拾五錢

但釜飯は加藥親子何れでも御二人前以下は御調進出來ませぬ

景品は御勘定(銀貳圓)に對し一枚の割にて景品券にて差上げ置き今回の總券數二千枚を出し盡しました時に有志の御方々の御立會ひを乞ひまして籤引致し景品券を引換へに差記の景品を進せます何卒陸續御入來之程を偏に希ひます

景品目錄

第壹等		銘酒澤龜		七樽
第貳等		仝		三樽
第參等		五匁附純金指環		壹個
第四等	二本	銀側懐中時計	(代價二拾圓)	壹個宛
第五等	三本	旅行用皮製カバン	(仝拾五圓)	壹個宛
第六等	四本	旅行用化粧道具	(仝拾圓)	壹個宛
第七等	五本	膝掛け	(仝八圓)	壹枚宛
第八等	六本	絹紬	(仝六圓)	壹反宛
第九等	七本	メリヤスシャツ	(仝五圓)上下	壹組宛
第十等	八本	巻烟草入	(仝貳圓)	壹個宛

明治三十九年二月十日より

元神廟街 **翁亭** 長谷川金次郎

軍隊用雜貨
日用品雜貨
呉服太物類
化粧品類
陶器類
食料品類
卸小賣

其外新荷着精々安價販賣

營口永世街七十號(第二市場東)

石原商店

官製口付莨、文房具
和洋酒類
白米
鑵詰、菓子
藥品、雜貨
卸商
醬油瓶樽詰
防寒具、安價販賣

營口西北街

(十)

豐生洋行

(電話十三番)

宮門抄

二十日
外務部　欽天監　侍衛處值日侍衛處引見三名　承燕等得賞銀兩謝　恩　錫公榮公阿公假滿請　安　奎公請假十日
召見軍機　景澧
外務部聯豫遞封奏各一件
旨英俊璞玉世鐸均著加恩賞給委散秩大臣欽此

論說

論學科與群治之關係

不學學則群不化。學不學則化不成。化不成者。其群頑而不靈。愚而不明。我粗而人精。此屈而彼伸。是之謂自渙其群。何以爲天下君。然則人群之治之所由進化者。視乎學而已矣。學之所以有益於群治者。視乎其科而已矣。知學科與群治之關係。而天下治矣。古之時政教合一。故學皆有用。後之世政與學分。故有無用之學。漢之攷據。六朝之詞賦。唐之墨義。宋之字說。明之時文。上以是教。下以是學。下以是學。上以是用。其用之也。則又盡棄其所學。以學爲政。而常有不給之患。凡此皆不知政學相關之故也。夫交涉警務。關于吏政。農商路鑛。關于戶政。倫理音樂。關于禮政。與地体操。關于兵政。東西法律。關于刑政。格致算術。關于工政。吏也。戶也。禮也。兵也。刑也。工也。中國之所謂政也。交涉警務也。農商路鑛也。倫理音樂也。與地体操也。東西法律也。格致算術也。泰西之所謂學也。泰西之學。即泰西之政。中國有其政而無其學。無學是無政也。無政而猶有學也。吾不知其學之何爲。凡此皆不知政學相關之故也。知其故而爲之學。以德育立其体。以智育達其用。頑者日靈。愚者日明。粗者日精。屈者日伸。如是則足以保其[illegible]。蓋學也者。人群造化之基礎也。羣其心思。不學則不智。群其材力。不學則不強。現其智現其強。則莫若群納之學校之中。而使之各習其業。士爲士群。農爲農羣。工爲工群。商爲商群。群居則勸惰相形。奮心以生。巧拙互呈。互呈則觀摩以有成。如是則弱者強。愚者智。合一群之心思材力。足以自治。足以治人。而天下無無用之學矣。天下無無用之學。則天下無無用之人。而群治進矣。其關係豈淺顯哉。

中外要聞

●電商民教事宜　外部接北洋電謂新疆俄國敎民人數日衆請大部速電新疆巡撫查察該教民等產業生理彼回漢雜處之地易生交涉儻遇事故免致外人訛賴等語　部堂悉議商此事先電知新疆巡撫再行照會駐京俄使察清教民產業人數開列冊簿存案將來易於辦理云又聞各堂議商不止俄之一國清查敎民人敎產業他國敎民人數產業亦多亦應照會他國駐京公使均照俄敎民辦法開寫清冊送部存案云云此事業經議妥已諭令供事寫具照會矣

●勸諭種植　聞河南巡撫日前奏稱種樹爲天地自然之利欽奉　諭旨隨飭地方官多方勸諭栽種桑柘榆柳棗梨桃杏等各就土性所宜隨處種植一年之內成活之樹數十餘萬之多等語並於勸農敎稼之外令地方有司化導小民時勤樹植以益民生云云

●政府通飭各省　聞政府通飭各直省督撫云五穀乃民命所關國家設立倉儲原以濟小民之緩急但倉儲有限而人數繁多是在督撫大員董率州縣各官勸勉化導俾百　各盡力于南畝野無曠土戶無游民亦必令有所儲蓄以備不虞倘襲取虛文不求實政或刑驅勢迫使閭閻未受蓋藏之益而巳受煩苛之擾此又國法之所不貸者將此傳諭各督撫等官体念朝廷之意勉力爲之云云

●蒙古練兵　日前軍機大臣會議欲加嚴蒙古之備前經練兵處大臣會商理藩院擬飭令內外蒙古各王公部落照其大小廣狹遴選精壯之丁速成軍旅應由京師武備學堂卒業生前往派充訓練之任云云

●限制墾事宜　政府擬准各省官地民業凡有關於水道之蓄洩者一概不准報墾倘有自恃己業私將塘地陂澤改墾爲田有碍他處民田者查出重懲如果有可墾之地應改之田于水道並無妨碍令民報官勘明方准開墾改則升科若地方官任民溷請改墾查勘不實該督撫即奏參議處

●墾荒必先請執照　軍機王大臣奏嗣後民間報墾荒地應由布政使刊刻執照鈐印豫發各州縣俟墾戶呈報勘明即將業戶姓名畝數四至塡明照內給發業戶每于歲終造冊彙報藩司查核其開墾成熟者于起科之年照例徵收承墾之後或因丁壯消亡或地土磽薄墾不成熟者准令呈報地方官勘明銷繳執照如不請執照即以私墾治罪地方官查勘不實私行濫結立即奏參嚴加議處

●奸番宜防　近聞四川重慶成都府屬威茂等處番民每於冬初來此傭工歲以爲常近來有等奸番自稱大小頭目各携婦女對岸搭房居住爲娼流棍奸匪溷跡其中有關于地方風俗自應嚴行驅逐免致滋事聞政府諭各該督轉飭地方官實力稽查携帶不良之婦有關風化者即當驅逐將流棍等一併重懲云云

●安插民　政府擬定蒙古人等遇有流移口外大通地方者稽查明白分晰安插例應支扎薩克管轄令附近各部落辦理將戶口細冊飭送理藩院其應有產業各地方官估值動支公項按數給發俾赴安插處所別立產業云云

●稽查邊外民人　政府奏准山陝邊外蒙古地方種地民人甚多良莠不齊應在該處設立牌頭總甲令其稽查即于種地民人內擇其誠實者每堡設牌頭四名總甲一名種地如有拖欠地租並偷竊等事及來歷不明之人立即報明治罪如通同徇隱將該牌頭等一併重懲云云

●禁止買奴　政府擬定凡有欽差大員出省並督撫提鎮大小各官不許買良民爲奴及轉相餽送嚴行禁止並直省各駐防官及提鎮以下等官概不許買本省良民違者降二級調用若縱令家人買者照本官議處

●預防逃民　趙次帥電致政府所有奉天所屬逃民之事令已年餘即未經驅逐之民亦確查明辦理並令奉省沿海地方多撥官兵稽查不准內地流民再行偷越口外並行山東江浙閩廣五省督撫嚴查商船不得夾帶閑人再山海關喜峯口及九處邊門飭令守邊官員並州縣等嚴行禁阻庶此後流民出口得以杜絕云云

●八旗實業學堂示　頃聞京師八旗實業學堂出示云所有去歲赴考已正取備取初等學生務于本月二十五日以前赴堂報到聽候傳補勿得自誤特示

●直隸保甲之設立　聞直隸天津各處設立保甲城鄉鎭集人烟稠密之所按戶編查至窮鄉僻壤零星居住之民一村一莊千數家者離於編設令州縣詳酌形勢妥協辦理勿任胥役貧緣爲奸擾累戶民其餘均令該督撫自行酌量辦理云云

●論查墟地　政府諭查河東鹽池渠堰歲修又大修工程既有動支之款其墟丁民夫一律裁撤應將丁夫編入民藉與民一例差役云云

●愼重保甲　政府諭令直隸各省督撫轉飭所屬州縣將設立保甲門牌冊藉實力稽查其有倡爲邪說斂錢辦會以及張貼報單各店口來往無定行踪可疑之輩鄉保不得徇隱地方官當定力查究重辦

雜報

●委員運送軍械　趙次帥於去臘飭派督轅教練委員蔣隆第賚文赴北洋購運軍械子母等件刻已由火車裝載過錦沿途派西路巡捕隊接替護送至新民府大約不日即可到省云

●練軍來錦　駐札朝陽直隸練軍八營向歸楊玉堂軍門統領日前特派兩哨來錦暫住東關德發義店福和各糧店未知有何軍情

●羌帖大跌　本埠羌帖近日大落前日每元換爐銀八錢二分二厘昨竟落至七錢八分八厘再越二口或與手票相平云

●奉省錢行公議規則　客臘省城總商會與各錢行公定週轉市面規則六條如下

一、在銀市議論銀元手票各報各行以便市面一律週使
二、在銀市代客買賣銀元手票賬用各一成
三、議下市後將出衆貨行銀元手票照所報之行賬用各一成不准不要取用亦不准不付
四、議各銀錢川換錢行通融過賬倘有遞議十六街商會自理條規不能再與錢行商酌倘落此舉多年古道一旦拋除
五、衆貨行各家及外客等據兌銀錢過碼以遞單之日起限四日內丁兌清楚如不清楚准其盡行返回原主
六、議過賬在臘月二十八日小建二十七以前者年前均由錢行照兌清楚至臘月二十八及小建二十七以後遞單過歲倘不能照兌均以明年正月初八爲限倘有不妥之處仍賬准原數返回至於手票之行已經商會通明軍政署矣現報銀元之行如有窒礙有官銀號承管

叢談

●世界最狹之海峽　東西兩土耳其國境瑪驪拉海多島海之間名他大尼海峽爲歐亞分界之所其間寬止二三里歐亞兩洲人可以隔岸對語春秋時波斯王澤耳士伐希臘造浮橋以渡軍即指此地誠世界最狹之海腰也

●世界最深之海峽　凡陸地與他陸地相近之海峽其海面愈近則海底必愈淺惟澳洲東北珊瑚島一帶如紐阿耳蘭新昭濟奄新罕奴浮之間其海峽相距雖不遠而水深則仍與海洋相等蓋其島多生在水深處綠珊瑚乃合無數小蟲所成蟲離水則死故島之四周水必深其海峽與他附近陸地之海峽不同

NEWCHWANG, SATURDAY, FEB. 17, 1906.

The bazaar referred to in our yesterday's column will open at the Assembly Hall at 2 p.m. on the 20th. next (Tuesday). The north room on the right is to be used for the stalls in charge of Mesdames, Kanno, Sato, and 7 other dames and young ladies, for works of Japanese art, ornamental and useful, consisting of porcelain ware mostly from the famous 'Kudani' potteries—flower vases, cups and saucers, &c.; gold-lacquer ware also from Kanazawa; embroidered silks—dainty handkerchiefs, table cushions, &c.; velveteen and woven pictures mainly representative of picturesque Japanese scenery; and cravats and albums of varied designs—these latter assortments being furnished by the celebrated Kyoto dry goods dealers "Takashimaya." A few choicest pieces will be offered for as high as some 150 yen, the rest ranging from 100 yen down to 1 yen. The verandah will be sheltered from the cold with matting and turned into a genuine Japanese tea-house, rendered warm and comfortable enough inside and waited upon by Mrs. Inouye, Miss Ohga, and 8 other ladies. The main hall is to be reserved for evening entertainments, beginning at 6 p.m. 13 features make up the programme, in which the more prominent are a concert on the '*shakuhachi*,' a kind of flute, the 13 stringed '*Koto*,' and the '*samisen*,' with another on the piano and two '*Koto*.' Japanese dancing by ladies to the soft, plaintive tunes of the '*samisen*' promises to be quite an attraction. Performances on the '*Satsuma-biwa*,' somewhat like a banjo in shape but much larger, generally treating of epic climaxes, and so held most dear to the *samurai's* heart; whistling on a grassblade ('*shibabuye*'); and exhibitions in rudimentary '*jiujitsu*' may be counted among the other novelties. Mesdames Nakamura, Sugino, Nagasaki, Masuda, and two others are put on the Reception Committee.

The whole enterprise is under the auspices of the Newchwang Branch of the Patriotic Ladies' Association, with Mrs. Segawa for the presiding officer. They have been engaged in the benevolent work of distributing at Tashihchao Junction such cheap luxuries as tobacco and sweetmeats among the entrained ranks and files on their homeward way. It was started simultaneously with the beginning of evacuation early last November, and is to be kept up daily as late as next March. It is understood that, the funds on hand having been long exhausted, the fair members have hit upon this happy plan in an attempt to raise the required sum. Those wares for sale have been procured by a trusty agent specially sent over to Japan, and have just arrived. The ladies assigned to stage performances have been working hard at rehearsal, justifying a hope that they will not fail the high expectations of their well-wishers upon the results of their enthusiastic practice.

Admission tickets may be had of Mr. Segawa at the Japanese Consulate. 3 yen is asked for one which entitles the bearer to free access to the bazaar, tea-house, and evening entertainments.

Tokyo wires under date of the 15th. inst. advise us that arrangements have been perfected for floating an internal loan of 200,000,000 yen at 95 yen with 5 per cent interest, redeemable in 30 years. Count Arco-Valley, German Minister to Tokyo, entertained to a welcome banquet the returned Army Commanders and their staffs, numbering 30 in all. Marquis Ito's departure from his villa at Oiso will be further put off to about the 21st. next. On his arrival in Korea, the guns will fire a salute and the Resident-General will be provided with an escort of honour as is accorded to a field marshall. A detail of guard will be kept at his residence in Seoul. Sir Claude McDonald, H. B. M.'s ambassador to Tokyo will promote a grand musical concert in the capital on the 24th. inst, to raise a relief fund for the afflicted Northeastern people.

Silver in the war note seems to be determined upon rising to par with the gold yen. Nothing wider than the narrow margin of 1/4-sen now stands between.

EXCHANGE QUOTATIONS—(Feb. 16, 1906).

JAPAN	Bank T.T.	99 3/4	LONDON	Bank T.T.	2/- 5/16
	" Dem'd	100		" De'd	2/- 3/8
	P'ate 15 d/s.	100 5/8		Cr. 4 m/s.	2/- 7/8
SHANGHAI	Bank T.T.	71	AMERICA	Bank T.T.	49 1/4
	" Dem'd	71 1/4		" Dem'd	49 1/2
	P'ate 15 d/s.	72 1/4		Cr. 4 m/s.	50 3/4
TIENTSIN	Bank T.T.	102 1/2			
	" Dem'd	102 1/4			
	P'ate 10d/s.	101 1/4			

昨日の氣温　最高温度十七度三　最低温度十四度一　昨年との比　高十二度一　低廿七度七
大連　旅順　發午前　七、三〇　一〇、四九

營口旅館料理店案内（いろは順）

- 旅館　第一營口ホテル　元神廟街九十六號
- 旅館　第二營口ホテル　河岸通り
- 料理　第三樓　元神廟街三十二號　店主 粕屋忠兵衛
- 料理　入船亭　永世街百八十三號　谷 初次郎
- 旅館　日營ホテル　河岸通り　店主 井上源吉
- 御料理旅館　勉強館　奉天小西關外北長發園跡
- 料理　東京館　永世街八十六號　店主 村上京四郎
- 旅館　東茂旅館　西北街百七十三號　正金銀行西三程
- 料理　沖の島　永世街百六十五號　店主 中川彌三郎
- 料理　吉野亭　永世街八十六號　店主 坪田正好
- 旅館　竹村館　永世街二十二號（電話五一）　店主 廣田久二
- 旅館　大和館　永世街十一號　店主 前田九一郎
- 料理　滿洲樓　南永世街第十號　店主 直塚勝一
- 料理　萬梅　豐濟門街第百〇四號　店主 田島彌助
- 御料理　まんなをし　永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡　店主 和田常松
- 料理　醉花園
- 旅館　澁谷旅館　永世街百二十七號　店主 澁田留吉
- 旅館料理　第一金城ホテル　永世街百六十六號／第二金城ホテル　永世街百六十六號　店主 齋藤富次郎
- 旅館　東雲旅館　永世街七號　店主 谷口今朝太郎
- 料理　喜樂亭　營口元神廟街

營口軍政署御用旅館　東　主任 谷口今朝太郎

さるそば　第一更科　營口元神廟街
さるそば　第二更科　永世街鶴の湯角

御料理　叮嚀専一　柳亭　豐濟門街二三　店主 玉岡[illegible]

御料理並ニ温泉　一力　營口永世街　店主 堀万助

和洋料理　本店 松月亭　營口元神廟街一四三号
和洋料理　支店 滿洲ホテル　遼陽西街西門一一七号
御旅館

遼陽旅館料理屋案内

- 旅館料理業　日營ホテル支店　主任 井上源吉
- 御料理會席　菊水館　主任 朝枝園[illegible]
- 旅館西洋料理　遼陽館　主任 永瀬宇吉
- 旅館料理業　公陽館　主任 宮川秀基
- 御料理會席　末廣屋　主任 山根初之亟
- 御料理　凱旋亭　色々應御注文　主任 古谷庄太郎
- 旅館御料理　遼塔ホテル　主任 木村常吉
- 遼陽兵站司令部指定ホテル　遼陽倶樂部　營口東雲館支店　主任 谷口今朝太郎
- 會席御料理　玉家　主任 西野治三郎
- 御料理會席　來々亭　主任 石田清

御旅館　豐陽館　上海（電話一〇六番）
日本郵船會社荷客取扱
歐米滊船乘船取扱
館主 米田藤吉

撫順炭大販賣
多少に不拘御用命被仰付度願上候
金城館販賣部

特別室落成
營口金城ホテル旅館部

藝妓仲居新來
金城館料理部

奉天小西門外
會席御料理
高等御旅館
金城館

旅館　富喜樓
室内は極清潔防寒之設備あり
鐵嶺驛へ滊車到着毎に日本人の案内者出張致し居候
鐵嶺城東門外南へ一丁余
南大街　樓主敬白

營口永世街
營口印字局

雑貨　すし米
醬油　清酒（大樽 半樽）
木炭

營口西北街
阪神組

御料理　滿月
平野町一八二（電話一六二）

御料理　滿月支店
平野町（元都樓跡）
今般内地より撰り抜きの別嬪數名呼寄候に付不相變御引立の程希上候
店主 青木勝惠

御旅館　天津
芙蓉館
駐屯軍御用
並西洋料理
（電話[illegible]十一番）

高等旅館　彌生館
營口永世街
館主 宮下只七郎
（電四二）

和洋會席御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に浄附且又會費等は特に割引大勉強仕候
二奉天支店も本店同樣に大勉強仕候間御光來被成下度候

營口永世街二本町
日本館本店（電話百三十番）
奉天小西門外大十字街北入橋町
日本館支店（電話十九番）
各位樣

譲り渡し
弊樓現在の家屋疊建具付の儘讓渡し度候に付御望みの御方は至急御來談被成下度候
二月四日
平野町　春帆樓

軍票騰貴致候に付弊行正札價格より五歩引を以て御用達可申候

銘酒 菊正宗 新着!!

尚最上日本白米及マッチ新荷着仕候

雑貨商　加藤洋行（營口電話八十番）
本店 天津日租界
支店 營口 遼陽
出張所 北京 大阪

發賣　材木 標子 木板
清國營口二本町二五五號
塩川商會
主任 鹽川峰吉（電話一三六番）
遼陽小西門内
鹽川商會

建築用材北海道産松大角（自廿五尺至三十尺）一万立方尺餘
外に電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

○上等石炭　一噸に付　銀十六圓
○上等日本米　一石に付　銀二十圓
○板材木　○木炭
○亞鉛板　○洋釘
○干擄魚　○石灰

御小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持参可仕候也

喜久洋行
永世街八十號（電話百五十二番）

大連　東洋ホテル
大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町

爲替相場（二月十六日）

日本向	一百圓	（軍票百圓に付）
上海向	七十一兩二匁五分	（同）
天津向	一百〇二圓二十五錢	（百弗に付）
芝罘向	天津向ト仝	

油豆行情（中歷正月廿三日）

日本品最近物價表　加藤洋行調査

酒類

一菊正宗	三斗九升入	銀廿一圓
一麒麟正宗	四斗四升入	仝十七圓五十錢
一蜂香葡萄酒	四打入	仝二十二圓
一牛久生仝	仝	仝四十圓

煙草　代々木公司調査

一スター	五十盒入一箱	銀七十八圓三十錢
一チエリー	三十盒入仝	仝四十四圓
一リリー	仝	仝四十一圓
一ロングライフ	仝	仝四十一圓
一スター	五[illegible]入一箱	[illegible]

一仝六分板（耳ヅリ）	仝	仝一圓九十錢
一仝　仝（並）	仝	仝一圓七十五錢
一仝八分板	仝	仝二圓五十錢
一仝二間正八分板割	仝	仝七圓五十錢
一仝二間正一寸仝	仝	仝九[illegible]

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 80 cts. per month. 4 cts. a copy
$2.30 per 3 months.

本紙定價

一枚ニ付	銀四仙
一ヶ月前金	銀八十仙
半ヶ年前金	四弗八十仙
一ヶ年前金	銀九弗六十仙